

あなただとわ

女 男
石垣市の**みー**ど**うん**と**びぎ**ど**うん**のひろば



■ 平成19年度男女共同参画週間 石垣市主催事業「標語コンクール」

最優秀作品

「あなたとわたしの 意識改革で創る 共同参画社会」

(松竹 ヨシ)

発行／石垣市総務部広報広聴課男女共同参画係

〒907-8501 石垣市美崎町14番地

TEL 0980-82-9911 (代)

TEL 0980-82-1243 (直)

No. 27

2008年 春季号

題字・絵：新城 絵理奈

～男女共同参画行政2007～

宣言文の朗読

と き：平成19年11月25日（日）
と ころ：石垣市民会館ホール

男女共同参画都市いしがき宣言・市民のつどい

石垣市制施行60周年記念事業「男女共同参画都市いしがき宣言・市民のつどい」が、大勢の市民の参加のもと開催されました。宣言セレモニーでは、石垣小学校児童総勢70人による民謡“あがろうざ”、名誉市民・宮良長包作曲の“えんどうの花”の横笛合奏で幕を開けました。

市長あいさつ、経過報告が行われたあと、石垣市青年団協議会員や市民など男女10人により宣言文が高らかに読み上げられ、内外へアピールしました。



続く市民のつどいでは、八重山高等学校カラーガード部による演舞、NPO法人ラブ・ピアプライスのヤング会員（高校生）による思春期の子も達の悩み相談等のサポーター活動の紹介、青年団協議会による勇壮なエイサーの演舞などがあり、会場を大いにわかせました。また、八重山地区農山漁村女性組織連絡協議会による寸劇では、男性優位の家庭と男女共同参画家庭をコミカルに取り上げ、笑いを誘いながら課題を訴えました。

最後は登野城字会ユンタ保存会によるユンタ・ジラバの掛け合いでフィナーレを飾りました。老若男女が“まるごー（輪）”になり、“ジービシィ”（地固めをする道具）を引きながら唄い合う姿に先人達が培ってきた『結い』と『協働』の心を感じとることができました。



みーどうん(女)とびぎどうん(男)でつむぐ

男女共同参画都市-いしがき宣言

わたしたちは、みどり豊かな自然と文化に育まれた石垣市に誇りを持ち“みーどうん”“びぎどうん”の一人ひとりが尊びあう真の平等のまちを心から願っています。

お互いが性別にとらわれることなく、いきいきと暮らせる社会の実現をめざしここに「男女共同参画都市」を宣言します。

一 男女がお互いを認めあい 一人の人間として
尊重される真の平等を育むまちをめざします

一 一人ひとりの個性と能力が響きあい あらゆる分野で
ともに参画するまちをめざします

一 男女が仕事・家事・育児・介護・地域活動などの
責任を分かちあい安心して暮らせるまちをめざします

一 一人ひとりが地球にやさしい環境づくりをすすめ
国際交流の輪を広げ 恒久平和の尊さを発信
していくまちをめざします

平成19年11月25日

石垣市

石垣市制施行60周年
輝いて60年 ふれあい石垣 ひろがる未来

11/25 (日) 午後2時～午後4時
石垣市民会館中ホール

だんじょきょうどうさんかく
男女共同参画都市いしがき宣言
・市民のつどい

みーどうん ひぎどうん
女も男も ともに輝く社会へ～



日 程：第1部 宣言セレモニー
第2部 市民のつどい

出演団体 (八重山高等学校カラーガード、NPO法人LPPYヤング会員<八重山商工高等学校、八重山高等学校、八重山農林高等学校生徒>、石垣市青年団協議会、八重山地区農山漁村女性組織連絡協議会、登野城学会ユンタ保存会)

主 催：石垣市 共 催：第2次いしがきプラン地域推進委員会

後 援：石垣市女性団体ネットワーク会議、石垣市自治公民館連絡協議会、石垣市立小中学校長会、石垣市青年団協議会、石垣市PTA連合会、八重山地区県立高等学校長連絡協議会、八重山毎日新聞社、八重山日報社、石垣ケーブルテレビ

連絡先：石垣市総務部広報広聴課 (電話 82-1243)



ラブ：ピアプライスのヤング会員



第2次いしがきプラン地域推進委員

石垣市制施行60周年記念事業

男女共同参画講座2007

職員講座 テーマ 「リーダー育成のためのスキルアップをめざして」

と き：平成19年9月28日 演習「効果的なワークショップの持ち方」

ところ：市第1・2会議室

講師 石原絹子氏

NPOコミュニティおきなわ
代表理事



石原絹子 (いしはら・きぬこ)
「ワークショップで塾生の関係づくり」
「ワークショップの意義と方法を
学びながら塾生の関係づくりをする」

所属期間
NPO法人コミュニティおきなわ代表、
沖縄女子短期大学非常勤講師

信条「現場の声を形に」

著書
「障害者が福祉教育を担う」
論文
「沖縄のNPOセクターの研究」



学習を通して意識の変革及びエンパワーメントし、行動できる自分づくりを目的に男女共同参画講座の一つとして職員講座を開催しました。対象は、市女性係長や主任等約20人で、ポストイットを使っ
ての効果的な会議の持ち方や、ちょっとしたスキンシップで、気持ちをほぐし、打ち解けた会議を持
つことができること等、実演するなかから感じ取ることが出来、今後の業務に生かしていきたいという
感想がありました。

講演会



テーマ 「ことばのコミュニケーション
～自己表現について～」

講師 崎山律子
(フリージャーナリスト)

と き：平成19年10月16日(火)

ところ：市健康福祉センター視聴覚室(2階)

本講座は、「女も男もともに輝く社会の実現」に向け、意識改革、行動できる自分づくりを目的に開催しています。崎山氏は、若かりし頃の本土系企業で働いていた頃の体験談から「理論的に言葉を積み重ね、しっかりと話す力を身につけることが重要であることを学んだ」と、強調しておられました。また、県内初の女性キャスター、リポーターとして活躍した琉球放送勤務の経験から、「漫然と仕事をするのではなく、目標や目的意識を持つことが大事である」と述べておられました。

崎山 律子(さきやま・りつこ)

富士ゼロックス沖縄営業所入社(1970～1973)
琉球放送株式会社入社(1974～1983)
沖縄有線テレビ入社(1984～1991)
(沖縄ケーブルネットワーク株式に移行)
現在フリー各種イベント、シンポジウム等の企画
コーディネータ、司会を務める
1993年6月より財団法人沖縄県文化振興会開催の
『かりゆし芸能公演』チーフプロデューサー(1998・3月まで)
那覇市個人情報保護審査委員(1992・5月～2005年まで)
女性財団にいる運営委員
沖縄県人材育成連絡会議委員
沖縄県河川整備検討委員
沖縄県公共事業評価監視委員
沖縄県女性問題懇談会委員
那覇市・宜野湾市・南風原町、教養講座
『見る・聞く・話す表現講座』講師
沖縄県個人情報保護審査委員(2002～)
那覇空港PI評価委員(2004～)
那覇うないネット共同代表(2006～)

「男女共同参画都市宣言」へ

同宣言文起草委員会会長慶田盛安三氏より大濱市長へ答申

平成19年11月19日(月)

石垣市では、市制施行60周年を節目に男女共同参画社会の実現に向け気運を盛り上げようと「男女共同参画都市宣言(仮称)」を行う方針を固め、同宣言文起草委員会を8月29日発足しました。

委員会は男女それぞれ5人ずつの計10名で構成し、6回にわたる会議を経て文案を取りまとめ市長へ答申しました。



石垣市男女共同参画会議を開催

と き：平成20年3月6日(木)

ところ：市役所第1会議室

委員への委嘱状並びに辞令交付式が行われました。この会議は、今回から市民公募の方々を含め、20名の委員で構成され、向こう2年間、市長の諮問に応じて男女共同参画計画案の策定、男女共同参画に関する調査、また、その他男女共同参画社会形成の推進等に関し調査、審議する機関です。昨年、老若男女が集う中、「男女共同参画都市一いしがき宣言」を行いました。それらを踏まえ今年、「男女共同参画推進条例」の制定に向けて取り組んでいます。



委嘱状交付

会長：仲吉 八重 副会長：宮 良 和子
委員：真栄城悦子 平 良 秀之 具志堅多恵子
生盛 智子 慶田盛安三 當山 房子
加藤 伴子 桃原由紀子 川本正樹
池城 安則 新田幸市 松島昭司

潮 平 俊 石垣市男女共同参画会議の皆さん
今井由美子 増田 一枝
唐真佑子 金城綾子 小底弘子

沖縄県女性海外研修セミナー女性の翼研修報告会

と き：平成20年3月10日
ところ：市健康福祉センター視聴覚室
研修報告者：慶田城正子さん
（八重山地区更生保護女性会会員）
研修国：韓国



韓国の概要、習慣・文化や社会活動を行うソウル女性プラザの活動内容の説明がありました。「これまで韓国では、男尊女卑の傾向が強かったが、近年女性の社会進出が活発化している」事等をパワーポイントを使用しての報告がありました。

健康講話

テーマ：「健康が一番！
健診で健康を守ろう」
講師：長嶺 孝子さん
（市健康保険課の保健師）



次年度から始まる健康保険制度・「メタボリックシンドローム」についてパワーポイントを通して、解りやすい説明と、本市の保険制度の活用状況等の報告がありました。

「ティーンのための人間関係ワークセミナー」

と き：平成19年10月26日（金）
ところ：石垣中学校・石垣第二中学校

DV被害者防止啓発講演会
「人間関係の基礎知識と自己表現の方法を学ぶ」
講師：八巻 香織氏
（思春期相談室ティーンズポスト代表）

二
中
の
生
徒
達



石
中
の
生
徒
達

ドメスティックバイオレンス(DV)を防止するため、若年層を対象に実施されている啓発運動の一つ。講演会では、人間関係の基礎知識や自分の気持ちを正直に相手に伝えることがよりよい人間関係作りにつながることの重要性が強調され、また「一番身近にいる他人は自分自身。まずは、自分と仲良く付き合うことができれば他人と付き合うのも楽になる。大人になるといのは、自分を一人の他人だと思って大切にできること」と話していました。

【主管課：児童家庭課】

2級ホームヘルパー養成講習会閉講式

(平成19年11月18日・健康福祉センター会議室)

ひとり親家庭自立促進対策として、沖縄県母子寡婦福祉連合会主催の講習会が9月3日から11月18日までの2ヶ月半のあいだ行われました。

離島で初めて実施された母子家庭自立促進対策事業(2級ホームヘルパー養成講習会)は、2ヶ月半、130時間と長期間にもかかわらず、参加者29人全員(女性28人、男性1人)が資格を取得しました。閉講式で仲座初枝会長(石垣市母子寡婦福祉会)は、「開講式の時と今日の顔が全然違う。この資格を今後活かしてほしい。」と激励しました。また、離島での初の試みに対し、主催者の沖縄県母子寡婦福祉連合会長は、「ニーズを実感し、今後の開催の重要性を認識した。」と述べていました。



【主管課：児童家庭課】

用語解説

ドメスティックバイオレンス

(domestic violence, DV) 同居関係にある配偶者や内縁関係や両親・兄弟・親戚などの家族から受ける家庭内暴力のこと。Domestic は本来「家庭の」という意味であるが近年ではDV の概念は同居の有無を問わず、元夫婦や恋人など近親者間に起こる暴力全般のことを指す場合もある。その意味ではドメスティックバイオレンスとはカップル間において

一方が他方を暴力によって支配している状態を指す。また、恋愛関係にある者の間に発生する暴力を特にデートDV (dating violence) と呼ぶ場合もある。

セクシャルハラスメント

(sexual harassment) 相手の意志に反して不快や不安な状態に追い込む性的なことばや行為を指す。異性にとって性的に不快な環境を作り出すような言動(職場に水着写真を貼るなど)をする事など。同

性同士で同様の言動をする事も含まれる。

モラルハラスメント

(moral harassment) 直訳すると「精神的嫌がらせ」という意味。言葉や態度によって継続的に人を貶め、傷つけるモラルハラスメントは「モラハラ」と略して呼ばれることもあり、ニュアンス的には嫌がらせと言うよりはむしろ「精神的虐待」「精神的暴力」と表現した方が正しいと考えられる。



第40回婦人の主張中央大会

沖縄県知事賞受賞 砂川菜保子さん(大川婦人会)

第40回婦人の主張中央大会(平成19年9月19日・那覇市琉球新報ホール)で、八重山地区代表の砂川菜保子さんが、県知事賞に輝きました。砂川さんは、「島人になりたい!」と題し、石垣市に嫁いできてからの自身の体験をとおしての主張をおこないました。県知事賞は39回大会の仲本則子さんに続き、2年連続で石垣市婦人連合会代表が受賞する快挙となりました。



～がんばっている人たち～

沖縄県社会教育功労賞受賞 宮里テツさん



平成19年度沖縄県社会教育研究大会において、県内から14個人、4団体が表彰されました。宮里さんは、元小学校教頭、八重山婦人連合会会長、市教育委員、委員長、県退職女性教育管理職の会理事、同八重山支部初代会長を歴任しています。また市教育委員会（社会教育課）主催の文書講座の指導者を務めて以来、同講座の有志で発足した文書サークル「すあかりの会」会長として14年間後輩の指導にあたり、現在もなお地域において幅広い活動を続けています。「今後、高齢者の生涯学習のために何らかの貢献ができればと思う」と受賞の喜びを述べていました。

（平成20年1月31日）

郡内初の「認知症介護指導者」に認定 當山房子さん

（有）福祉ネットワーク・やえやま「あかゆらグループ」代表取締役の當山さんは、沖縄県の推薦により、認知症介護研究・研修東京センターで約3ヶ月間の研修を受け、厚生労働省より認知症介護指導者として認定されました。同指導者とは、県内の介護現場で働く人々や関連職種の方たちに認知症の重要性を訴え、ケアの指導などを行うものです。「認知症になっても偏見や差別でその人の尊厳を損ねることのないよう、八重山地域はもとより県内の認知症ケアの質の向上に力を入れたい」と抱負を述べていました。

（平成19年11月30日）



お知らせ

煌く人とひと 連なる峰峰へ

「日本女性会議2008とやま」が10月に開催

開催日時：平成20年10月17日（金）～18日（土）

開催場所：富山県富山市

主催：日本女性会議2008とやま実行委員会

お問い合わせ：076-433-2008

ホームページ：<http://www.2008toyama.jp>

表紙解説

「まるごー」とは、八重山方言で円座を意味します。老若男女関係なく、円座になって情報を交換したり、未来を語り合うことを象徴して命名されました。題字と絵は、石垣市在住の新城絵理奈さん提供です。絵理奈さんは中学校の頃、平和祈念資料館の平和のメッセージコンクールで2年連続受賞した経歴を持ち、現在仕事の傍ら個展を開くなど多方面で活躍しています。